ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

かるでに対しては、中土マケーノゲー」。旧刊											
1. :											
	組組	哉名•F	所属	株式会社GENプラ	株式会社GENプランニング						
		役職		代表取締役	代表取締役						
	氏名			奥村 玄	ふりがな	おくむらし	げん		生年	1957年	
	連絡先		住所	〒 181-0001 三	三鷹市井の頭5-17-8 ラ・パーチェB						
	医帽刀		電話	0422-26-6788	携帯電話			y -	ールアト・レス ge	en−planning■world.ocn.ne.jp(■を@に変えて下さい)	
2.	経歴・取約			分野等	野等						
	主な経歴・受賞歴										
	◆2020年 宮城県川崎町「そばクエスト」 ◆2019年 埼玉県与野本町歴史を伝えるまちづくり市民会議コーディネート ◆2017年 宮崎県「ひなた生活圏」づくり ◆2016年~現在 草加松原児童センター基本構想・運営計画企画支援(早稲田大学卯月研究室) ◆2015年 鎌倉市津波避難実施計画策定支援 ◆2014年~現在 小田急線(東北沢~下北沢~世田谷代田)上部および周辺のまちづくり ◆2014年 飯田市桜並木を軸としたまちづくり構想 ◆2013年~2015年 いわき市久之浜地区防災緑地づくり会議 市民協働専門委員 へ2012年 宮崎市中心市街地活性化基本計画策定市民会議企画運営支援 ◆2011年 和歌山市中心市街地活性化市民会議企画運営支援 ◆2007年~2010年 ふるさと財団 和歌山県高野町地域再生マネージャー ◆2004年~2005年 宮崎市 福祉のまちづくりモデル地区検討会企画運営 ◆1998年 飯田市りんご並木実施設計										
			1	観光振興			0	7	住民参加・	協働	
			2	産業振興				8	イベント交別	ti.	
	取 組 分 野	0	3	過疎地域·限界集落の	疎地域・限界集落の振興			9	食品流通		
		0	4	中心市街地活性化	心市街地活性化		0	10	環境		
		0	5	まちづくり景観	ちづくり景観		0	11	NPO・ボラ:	ンティア	
		0	6	農林水産品の開発・フ			0	12	その他(地均	或コミュニティ再生・地域計画・地域の拠点づくり)	
3.	関連ホーム	 									
			1	3 称	アドレス						

ふるさと財団での実績 外活 ◆2010年度 和歌山県高野町 「楽しむ農業 富貴の里元気プロジェクト支援事業」 部用 ◆2007年度~09年度 和歌山県高野町「高野まちなか再生マネジメント事業」 専助 門成 家 ◆2017年度 山形県庄内町 外 部短 ◆2015年度 宮崎県串間市 専期 ◆2014年度 秋田県能代市 門診 |◆2013年度 愛媛県松山市、栃木県那須烏山市 家断 ◆2012年度 兵庫県朝来市 派 ◆2011年度 山形県米沢市、山口県岩国市 遣 ◆2010年度 愛知県豊根村、岐阜県恵那市、宮 崎県えびの市 ◆2008年度 岐阜県美濃加茂市 地セ 域ミ 再ナ 生 の ほ か 財団報告書 アドレス 名称 平成29年度 新・地域再生マネージャー事業<u>https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chiikisaiseihoukoku.pdf</u> 平成27年度 新・地域再生マネージャー事業https://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyouhoukokusyo.pdf 平成26年度 新・地域再生マネージャー事業http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyouhoukokusyo.pdf 平成25年度 新・地域再生マネージャー事業<u>http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25jchiikisaisei-jigyouhoukokusyo.pdf</u> 平成22年度 地域共創ビジネス支援事業 http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1321407101251.pdf 平成19年度 地域再生マネージャー事業 http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1213146357115.pdf

6. 写真・ひとことPR



< ひとことPR >

- ◆地域が長い年月をかけて築いてきた叡智に学びながら、一人ひとりの声を大切にしたまちづくりを目指しています。
- ◆構想からかたちに結びつけるまで、総合的な関わりが可能です。地域計画、都市デザイン、地域福祉計画、防災計画、建築計画、ランドスケープデザイン、景観計画、子どもの遊び場づくりなど、多様なテーマでまちづくりに携わってきました。一方で、まちづくりは地域によって独自のものだと考えています。経験に頼り過ぎず、地域のみなさんの願いをかたちにする支援を差し上げたいと考えています。
- ◆市民参加・参画・協働のまちづくり分野では、ワークショップの手法が日本に本格的に導入された黎明期から携わってきた経験があり、現在も新たな手法の研鑚と普及に努めています。特に新型コロナウィルス感染症に配慮した参加の場の創出にも心をくだいてます。